

鳥取県伯耆町

- ・ 県、町が連携した誘致支援により、新規企業を誘致
- ・ 既存企業との定期的な情報交換により、操業の継続支援

(2024/3/28掲載)

伯耆町では製造業を中心にした企業活動が行われ、地域の雇用の場となっています。企業誘致は雇用促進のみならず、本町のイメージアップにつながることから、今後も立地企業と連携しながら安定した操業を支援し、地域活性化を推進します。



鳥取県伯耆町

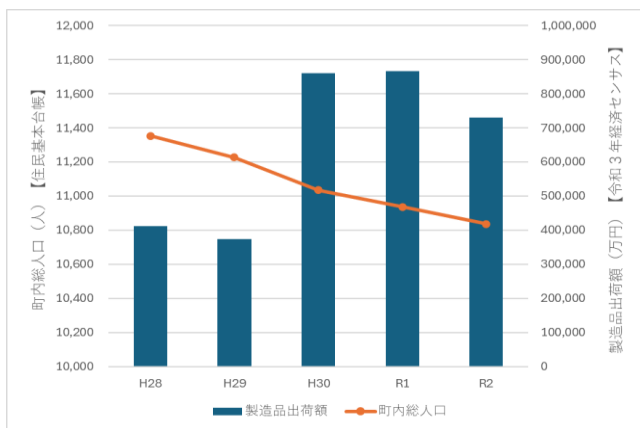
人口：10,270人（2024年4月現在）

面積：139.44km²

交通アクセス：

米子道大山スマートIC 1km

伯耆町は鳥取県西部に位置し、中国地方の最高峰 大山（標高1729m）の西麓に広がる人口10,470人の町です。米子市に隣接した地域はベッドタウンとして、大山山麓の地域は雄大な自然環境に恵まれたリゾート地や観光地であるとともに農業地帯となるなど多面的な機能を有する町です。



伯耆町を勧める5つのポイント

ポイント①

ポイント 補助支援制度

鳥取県と伯耆町による補助制度が充実。

ポイント②

ポイント 安価な分譲価格

㎡あたり6,000円～9,000円で分譲。

ポイント③

ポイント 交通アクセスの良さ

米子道大山高原スマートインターチェンジに近接し、スムーズな物流が可能。

ポイント④

ポイント 伯耆町の支援体制

担当課(企画課)がワンストップの対応を行い、庁内関係課が連携した支援体制。

ポイント⑤

ポイント 豊かな自然環境

大山のふもとに立地し、豊かな自然環境の中で操業することが可能。

立地企業の声

大山春雪さばー株式会社 エア・ウォーター・アグリ&フーズ株式会社



当社はハム・ソーセージ、デリカ商品、総菜などを製造する企業で、令和4年（2022）に5つ目の生産拠点として伯耆町に大山工場を新設しました。工場敷地内には直売所と大山の眺望をいかしたカフェを併設し、焼きたてソーセージを使ったホットドックやドリンクを提供。地域の方、観光客など想定以上の多くの方に来場いただき、当初目的の一つであった大山山麓の賑わい拠点創出による地域貢献と「大山ハム」ブランドの発信は順調に進んでいると考えます。

進出に際しては、協議開始から竣工まで約5年間に渡り、近隣関係者、関係機関との調整など伯耆町より多大な支援をいただきました。

主な団地紹介

岸本工業団地 [詳細はこちら](#)

規模：1.0ha

交通アクセス：

米子道

大山高原スマートIC 1 km

分譲実績：0

販売中物件数：1

大山を望む自然に恵まれた場所にあり、粗造成済みの状態です。車で1分のところに大山高原スマートインターチェンジがあり、スムーズな物流が可能です。



<他団地概要>

団地名	規模	交通アクセス	
大原企業用地	2.2ha	米子道大山高原スマートIC 1 km	詳細はこちら

自治体担当者から立地検討企業の皆様へ

企画課経営企画室



企業の安定操業を支援し、暮らす安らぎと訪れる楽しさが実感できる地域を目指す！

大山山麓に広がる景観や自然環境に加え、大山高原スマートインターチェンジ、溝口インターチェンジによりアクセス性が向上し、町内進出を検討する企業も増えてきました。

令和4年には大手食品製造工場がオープンし、雇用拡大、観光振興、本町のイメージアップにつながりました。今後も積極的な企業誘致を推進します。

伯耆町企業立地のご案内

<https://www.houki-town.jp/new1/10/4/3/>